



センターの営業も残りわずかとなりました。
そこで今回は今年の印象的出来事をいくつか。

- 1) 昨年の教訓を生かして蜂の巣が出来ないように気を配り、
実際2度程、出来たばかりの巣を大事に至る前に箒で駆除。
- 2) 台風14号の被害を抑える為万全の対策をとったが、何事も無く一安心。
- 3) 実験的しりべしiネット交流カフェの開催。
- 4) 他市町村iセンタースタッフによる余市iセンター視察。
- 5) 国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所による視察。
- 6) iネットが愛知万博、札幌リンケージアップフェスへ進出!
- 7) STVテレビ取材のために見事なコスプレを披露したスタッフ……。

また、建物の維持や景観維持、道路情報提供、iネット余市だよりの情報提供など多くのボランティアさんにより支えられて来ました。

冬期間閉鎖までスタッフ、おもてなしボランティア、通信員一同頑張っていますので、よろしくお願い致します。



撮影が終わり余市産果物でおもてなし

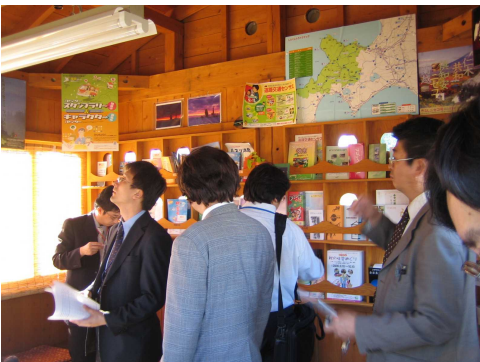
9月10日 STV の人気テレビ番組「1×8いこうよ!」の撮影が余市iセンターで行われました。

大泉洋さん、木村洋二アナウンサーの濃いキャラに負けじと農作業服姿のコスプレで臨んだセンタースタッフ今井ですが、撮り直し無の一発勝負ということもあって緊張の連続だったようです。

番組ではどのように編集されて放送されるのかは分かりませんが、iネットおよび12箇所のiセンターの機能についてをメインテーマにトークが繰り上げられました。

放送日は10月2日もしくは9日の予定です。

STV「1×8いこうよ!」毎週日曜日夕方4:55から放送



9月15日は国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所より10名の視察団が訪れました。

しりべしiネットは各市町村の通信員やスタッフからの情報提供があるなど、官民協働により構成され、中でも余市は独自の展開でiネットの機能をフル活用してる事などから視察場所の一つとして選ばれました。

当日は余市ならではの工夫や、12のiセンターの相互協力などについて質疑応答が行われました。

余市 i センター現場より

「i システム事業構想段階から携わり 3 年目を迎えた本年度は展開イメージの完成を意識し、これまでの経験や蓄積されたデータを元に可能性の模索、一名枠の常駐スタッフに男性を置くなど新しい試みもされた余市 i センターであった。3 年間の蓄積やオリジナルな展開がしりべし i システム事業そのものの象徴的な位置づけをされ、多くの取材や視察を受け、効果的実践モデルとして余市オリジナル施策の数々が訪問の方々の地域へ持ち帰られた。

小さな余市 i センターから地域活性化のアイデアや真の官民協働の意味を考える投げかけが出来たのだとしたら、スタッフはもとより、多くの様々な関わりのボランティアの方々の想いの成就でもある。」

で、ここまで通信用原稿に書いて初めての男性スタッフ玉ちゃんへ送ったら

「もっと長く書いてください」とダメだしされてしまった。

本年度、センター通信は構成、制作まで全てワード基本知識だった彼が作っているのだ。データ管理へも知識を積み要求する全てに答えてくれる。

ソフトな印象そのままにセンターインフォでも心を込めて対応し、再訪問も多いのが今年の余市 i センターでの特徴でもある。

開設当初からのコンセプトを理解し遵守する姿勢への信頼は大きい。不安定な中でも頑張れば必ず良いことが有るものだ・・・と思う、最高のスタッフを迎えた 17 年度の余市 i センターで有った。

後志観光連盟しりべし i システム事業運営部会
副部会長

余市 i センタースタッフ 今井 幸世

今年の通信の発行はまだ 1 号残ってはいるが、この半年を振り返って思うまま綴ってみたいと思う。

センター雇用が決定し i ネット関係者から温かく迎え入れられ、また、講習会などを通じスタッフ間の交流を深めさせてもらったおかげで、普段は 1 人でセンターにつめているにも拘らず心強い思いで業務に臨んでこられた。

観光客との対話の中で「静かで空気がきれいで、海の幸、山の幸に恵まれた余市町」に求められているものがまだまだあることを改めて知った。

お客様の言葉を借りると、素材はそろっているのにもったいない。という事になる。

確かにその通りだと思う。もっと観光に目を向ければ今以上に人を呼び寄せる事が出来るはず。と、それぞれが抱える事情も知らず、ただ案内をしているだけの自分は勝手にそう思ってしまう。

この半年間たくさんの人との出会いがあった。ほんとに様々なタイプの人と接触させて頂いた。片言の英語でも充分コミュニケーションをとれた事に妙に喜びを感じたりもした。ここまでドライブ観光が主流になっているのに驚いた。

全くもって個人的な話で恐縮ではあるが、数人の方とセンターでの出会いをきっかけにその後も交流を持たせていただいている。その中には再来余してくださる方も。

「ありがとう」この一言がうれしくて、また、支えられてもきた。

センタースタッフの一員として自分も微力ながら余市活性化の手助けが出来たのだとすると光栄の至りである。

余市 i センタースタッフリーダー 玉山 義信

しりべし i ネット <http://www.shiribeshi-i.net/>

余市 i センター

メール qq889mc9k@almond.ocn.ne.jp

電話 080-5582-2606

余市町商工観光課

電話 0135-21-2125